

令和5年度(2023年度)モニタリングシート

寺田 学童保育所第2クラブ

施設名		寺田 学童保育所第2クラブ												
視点	評価項目	6月			9月			12月			所管課 期末評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	
		所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)				
施設の管理・運営を安定して行うことができるか	定量的	職員配置(常勤数、非常勤数、加配数)・放課後児童支援員	B	配置職員及び放課後児童支援員は適正に配置されている【日報】	B	支援単位にあった適正配置を確保	B	支援単位にあった適正配置を確保						
	定量的	月報(学童保育状況報告書)・日報(育成日誌兼業務記録)を作成しているか	B	月報、日報は適切に作成している。また、法人独自のミーティングノートや職員間で情報を共有する連絡ノートを作成し、担当業務の明確化、子ども達の様子の状況を記録することで、全職員、全学年で情報を共有し保育につなげる取組みを行っている。	B	適正に作成している。所長確認後、月ごとに担当主査、課長が確認	B	適正に作成している。所長確認後、月ごとに担当主査、課長が確認						
	定性的	団体の経営方針が明確であり、きちんとした経理がされていること	B	管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設し、資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られている【銀行口座の通帳の有無・独立した会計帳簿】	B	適正かつ明確化が図られている。問題なし	B	問題なし						
	定性的	延長利用料金の徴収は適正に行われているか【独立した会計帳簿・日報、月報・銀行口座・領収書類】	B	延長利用料金の徴収は適正に行われている【独立した会計帳簿・日報、月報・銀行口座・領収書類】	B	問題なし	B	問題なし						
	定性的	収支計画が適正であること	B	給与の支出及び収支計画が適正に執行されている【給与規程・資金台帳・事業計画書(収支計画)・事業報告書】	B	問題なし	B	問題なし						
	定性的	管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること	B	児童発達、アレルギー対策等の研修や職員倫理をはじめとする資質向上を図るための人材育成研修が行われている【研修件名・内容】	B	応急救護研修、保育実践研修など法人ブロック内研修、法人全体研修など計画的に実施している。また児童虐待防止研修などを実施している。	B	普通救命講習(資格講習)受講、ブロック別保育実践研修、職員集合研修、応急救護法研修、学童保育所指導員倫理規程読み合わせ実施	B	入職者研修実施 全体保育実践研修実施・参加				
施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか	定性的	保育の継続性を確保するため、年度途中の人事異動を避け、職員を安定・継続的に配置しているか【事業計画書・日報・ヒアリング等】	B	安定かつ継続的な職員配置がなされている。	B	問題なし	B	問題なし						
	定性的	事業者の経営状況が健全な状態であるか【確認資料例:財務諸表・財務評価表】	B	適正である。	B	問題なし	B	問題なし						
	定性的	業務の一括委託が行われていないか【第三者への一部事務委託に関する承諾書・事業報告書・実地調査・会計帳簿】	B	協定書で定める範囲内で非常通報装置等、業務の一括委託が行われている。	B	問題なし	B	問題なし						
施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか	定量的	入退所等関係書類が滞滞なく処理されているか	B	適切に処理されている。	B	重要書類の受付には受領証を発行、併せて入退所関連書類受付表に記載し、原本提出後も把握できるよう管理	B	重要書類の受付には受領証を発行、併せて入退所関連書類受付表に記載し、原本提出後も把握できるよう管理						
	定性的	利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること	B	開所日数、開所時間は守られている【日報、月報・事業報告書】	B	問題なし	B	問題なし						
	定性的	文書の管理・保存が適切に行われているか【ファイル基準表(なければそれに準ずるもの)・実地調査】	B	ファイル基準表に則り適切に管理保存がされている。	B	原本5年保存	B	原本5年保存						
	定性的	施設設備・機器類の安全確認や定期的なメンテナンス、施設の修繕、清掃、整理整頓が行われているか【事業報告書・実地調査】	B	職員による日常清掃をはじめ各種機器の保守点検が行われている。	B	施設内で点検、コーナガードの補修 修理できない物は担当主査に報告し速やかに対応 無線LANルーターの交換	B	施設内で点検、コーナガードの補修 修理できない物は担当主査に報告し速やかに対応 エアコン室外配管修繕						
施設のサービス向上、利用者の増加等を図られているか	定量的	利用者の満足度3.0【利用者満足度調査】												
	定性的	放課後子ども教室運営団体と情報共有が図られ、放課後子ども教室への参加について柔軟に対応されているか	B	児童の情報共有や安全対策を双方で連携・協力して行い、放課後子ども教室開催時には積極的に参加している。	B	所長は放課後子ども教室推進委員会として情報共有し、連携	B	所長は放課後子ども教室推進委員会として情報共有し、連携						
	定性的	利用者からの苦情処理の体制がとれていること	B	苦情対応の体制を整え、苦情や相談案件についても記録簿を作成しミーティング時に職員間で共有するなど適切な対応がとれている。	B	苦情処理第三者委員会を設置、苦情・相談についての記録簿を作成、保管	B	苦情処理第三者委員会を設置、苦情・相談についての記録簿を作成、保管						
	定性的	利用者への周知・理解及び支援を深める取り組みを進めているか	B	保護者(会)とのコミュニケーション及び支援を深める取り組みを進めている【おたより、連絡帳】	B	毎月のお便りのほか、一斉配信サービス・玄関掲示スペースの活用 お迎え時の情報交換	B	毎月のお便りのほか、一斉配信サービス・玄関掲示スペースの活用 お迎え時の情報交換						
	定性的	学校、地域等との関係機関と連携し、特色ある行事を計画的に実施することで、保育活動の拡充・拡大を図っているか【事業計画書・事業報告書・行事計画書・ヒアリング等】	B	学校への情報提供・共有をはじめ、状況に応じて児童相談所、子ども家庭支援センターとの連携を図っている。地元大学のボランティアサークルによる保育の補助や行事の指導、地元保育園との交流、行事など地域との連携を図っている。	A	サタデースクール・地域保育園の行事に参加	A	サタデースクールに参加 地域自治会・ボランティア主催行事のポスター掲示						
事業計画の進捗が適切に図られているか	定性的	資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること	B	「八王子市役所エコアクションプラン」及び「八王子市役所環境マネジメントシステム(H-EMS:ヒームス)」に基づき、環境に配慮した管理・運営が行われている【ヒアリング等】	B	節電・節水・ごみの分別など環境に配慮した取り組みがなされている。	B	節電・節水・ごみの分別など環境に配慮した取り組みがなされている。カードゲームを使い子どもたちと日常の遊びの中でSDGsについて学ぶ						
	定量的	年間行事が事業計画どおり実施されているか【行事計画書、行事参加者名簿】	B	計画どおり実施されている。	B	問題なし	B	問題なし						
	定量的	防災訓練等(地震、火災、不審者、交通ルール等)は事業計画どおり実施されているか	B	地震を想定した避難訓練、防災教育など計画的に実施されている。	A	毎月1回の防災教育、年3回の防災教育、年2回の交通安全教室の実施	A	月1回の計画的な防災訓練のほか、防犯ブザーの使い方、落着きの危険性、地震についてなど折に触れて防災教育に力を入れている。また、地域自主防災会の会連や地域自主防災訓練にも事業計画とともに積極的に参加している。						
個人情報保護管理及び危機管理が図られているか	定性的	個人情報の取り扱いが適切であること	B	個人情報の保管等適切な管理のための必要な措置が講じられている【保管庫の施錠、マニュアルの整備、情報セキュリティの順守】	B	危機管理マニュアルを整備、退勤時チェック表を活用し、照明・空調機器の作動状況、窓・ドアの施錠等厳格に管理	B	危機管理マニュアルを整備、退勤時チェック表を活用し、照明・空調機器の作動状況、窓・ドアの施錠等厳格に管理						
	定性的	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか【保険証券】												
	定性的	事故や災害発生時の緊急時における初動対応が迅速かつ適切に行われたか。また、適切に対応するよう責任、手順(マニュアル)等を明確にし、体制が整えられているか【マニュアル・事業計画書(事業計画)・事故報告書】	B	万が一の事故や災害に備え、適切な対応が出来るようマニュアル類や連絡体制を整えている。	B	危機管理マニュアルを整備、定期的に施設内研修を実施	B	危機管理マニュアルを整備、定期的に施設内研修を実施						
事業計画の進捗が適切に図られているか	定性的	事故報告等の収集した事例について、職員の参画のもと発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討実施する等の取組が行われているか【マニュアル・事業計画書(事業計画)・事故報告書】	B	事故条件や事故事例を基に発生要因の検証や、対応策について職員間で話し合いを行っている。また事故を未然に防ぐため、ミーティング時に職員間で安全対策・再発防止に向けた意識啓発に取り組んでいる。	B	全体で安全対策委員会を組織し、事例を収集・分析し、改善策・再発防止策を検討、施設で対策を実施	B	全体で安全対策委員会を組織し、事例を収集・分析し、改善策・再発防止策を検討、施設で対策を実施						
	定量的	期末総合評価												
所管課コメント														